

# 航空旅行



vol.19  
2016  
AUTUMN

“山”と“海”のリゾートを一度に楽しむ  
ブータン・エアラインズ&  
バンコクエアウェイズの旅

*Dreaming on Dreamliner*

ボーイング787

夢の翼で  
夢の航路へ

次世代旅客機はフライトを変えたか？



ブリティッシュ・エアウェイズ 成田～ロンドン線  
最上級「First」の世界

ANA 成田～プノンペン線  
初の直行便! 東南アジアへ広がる“ドリームライン”

ユナイテッド航空 羽田～サンフランシスコ線  
堪能する最新鋭機の実力

スクート 成田～バンコク線  
バンコクを気軽にする黄色い787

革新的技術の中身を検証  
787は何が“次世代”なのか？

世界を翔る夢の翼たち  
787オペレーターリスト





ホテル専用の畑にはさまざまな野菜や果物が栽培されている。ゲストからの注文もバリエーション豊かに提供している。

乗馬も、ここで住家の中を自由に散歩するのだから、住居でもハイキングだ。

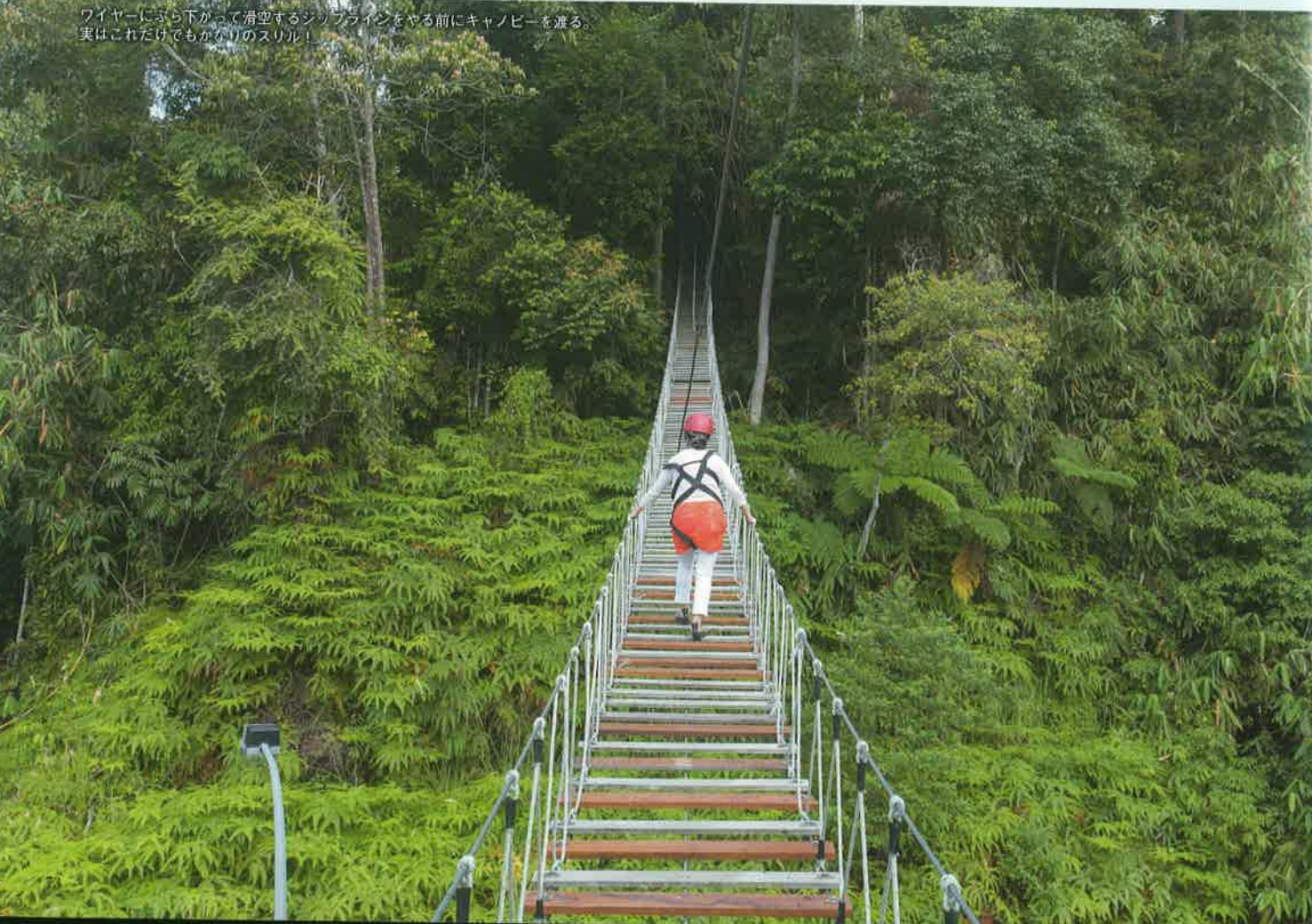
「マハティール・ヒルズ」は千歳大賞典、日本にも小さなゴールやミニ動物園などがあり、1日中遊ぶことができる。

まさにヨーロッパな町

車窓の景色はきらびやかな大都会からとんとん緑色に変わっていく。山の上へ上へと車は進んでいく。クアラ Lumpur 空港から車で約1時間半。だんだんと目的地に近づいてくる。くねくねと曲がりくねった山道の、ところどころ木々の切れ目から遠目に建物が見える。よく見るとそれは……ん？ お城??

高所に位置するブキットインギはクアラ Lumpur (KL) よりもずっと気温が低い。年中暑いマレーシアでは避暑地としてKL市民の定番の高原リゾートとなっている。そこに数十年前にできたのが、「コルマール」。コルマールとは実はフランスのアルザス地方にある都市の名前だ。神聖ローマ帝国時代には自由都市として栄えた歴史を持つ古都で、その旧市街には木組みの外壁がかわいらしい中世の町並みが遺されていて観光地としてもよく知られている。そのコルマールの名を冠したこのリゾート、足を踏み入れてみるとそこはまさに「本家」とそっくりな町並みの小さな村だ。城壁の荘厳な石造りの門をくぐると、石畳をはさんで木組みのカラフルな家々が立ち並ぶ。それらはレストランや土産物屋、宿泊施設などで、規模こそ小さいがかつてのオランダ村（現ハウステンボス）のような感じだろうか。このようにレブリカの街を作ってしまうケースはよくあるが、マレーシアの「コルマール」はマハティール

ワイヤーにぶら下がり滑空するジップラインをやる前にキャノピーを渡る。実はこれだけでもかなりのスリル！



## 究極の“城”で身も心もピッカピカ デトックスは あくまでも優雅に!

マレーシアの山の中、突如現れたヨーロッパの町。そのすぐそばには城があり、そこには穢れのない美しいものだけが存在する——。ロマンチックな夢物語のようだが、実はこれってホントの話。そこにいるだけできれいになれる究極のリゾート、その名も「シャトー」へようこそ!





動いたあとはたっぷりの朝ごはん！ ジュースも好きな野菜や果物をその場で搾ってくれる新鮮なもの。たくさん食べても罪悪感がない。



カリフラワーのスープは目の前で注いでくれるという演出。とろとろこっくり、素材の味がしっかり伝わってくる。



ディナーにはちょっとおしゃべりしていく。スタッフのご挨拶はフランス語、サービスもしっかり訓練された最上級のものど徹底。

**これぞ、究極の健康志向**

そんなベルジャヤ・ヒルズにある施設の中でも「きわめつけ」は10年ほど前に建設されたホテル、「ザ・シャトー」スバ&オーガニック・ウエルネスリゾートである。このリゾートは読んで字のごとく、オーガニックとウエルネス（健康）を追求するための自然派ホテル。外観は石造りのヨーロッパの城のように荘厳で、「コルマール」の入口の反対側に位置する。城下町と領主の城といった風情だ。子連れでの利用はできず、大人だけの空間となっているため静かな環境が守られ、異世界に入り込んだような錯覚すら起きる。マレーシアには素晴らしいホテルやリゾートが点在するが、この「ザ・



1 アミューズからディナースタート！ こんな山奥でこれほど本格的なフレンチをいただけるのは！ 2 アペタイザーはキングブロウンのグリル。一つひとつかわいらしくデコレーションされた野菜は見ているだけでも楽しい。3 美しいメインディッシュはチキン・マカニ（ピリ辛煮）。付け合わせはブラウンライスと、健康志向。4 ソフトチョコレートサヴァランでディナーはフィニッシュ。うーん、芸術的！

1日遊んだあとは夕食の前にスパトリートメントを受けるのがおすすめ。疲れを残さない！



元首相の肝いりでできたものという点でほかとちよつと異なる。この経緯はこうだ。元首相がフランスを訪れコルマールの町を視察した際、その美しさに感銘を受けた。彼は国民たちにもこの感動を体験してほしいと願ったが、当時のマレーシアはまだまだ貧困層も多く、とてもフランス旅行などままならない。そこで元首相は友人の企業家にこうした施設を作ることではできないだろうかと相談したのだという。果たして友人はコルマールにそっくりな町並みをもつパークを建設。首相の国民への愛がこの施設を作ったといっても過言ではなく、ほどなくしてここはKL近辺の人々に人気のアミューズメントパークとなったのである。現在はミニ動物園や乗馬苑、ジップラインといったアクティビティも加えられ大人も子どもも楽しめる総合遊園地で、運営会社の名をとって「ベルジャヤ・ヒルズ」と呼ばれている。



これだけ見ると本当にヨーロッパの田舎町にいる錯覚を記す。



シックでモダンな室内もヨーロッパを思わせる。シーツなどのリネン類、タオルは天然素材と室内でもきれいなものばかりに囲まれる。



シャトーのエントランス。かなり大きなプロバディでありながら細部にわたりオーガニックに気が配られている。



驚きの「究極」ぶりはウェルカムドリンクから。レモンやミントのオリジナルノンアルコールカクテルで、身体に溜まったヒートがふっとぶ。

先生、すごい！



アイランドのスパブランド「VOYA」。海藻を用いた、ミネラルたっぷりの自然化粧品の数々。やさしい香りにも癒される。

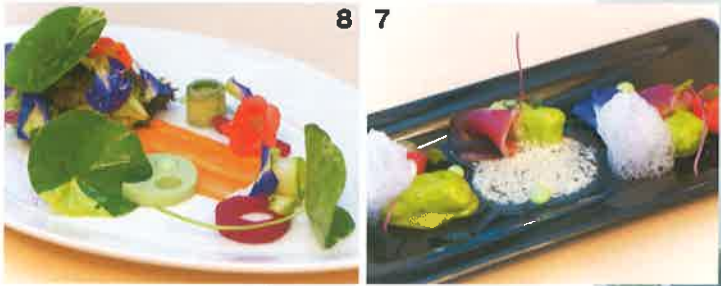
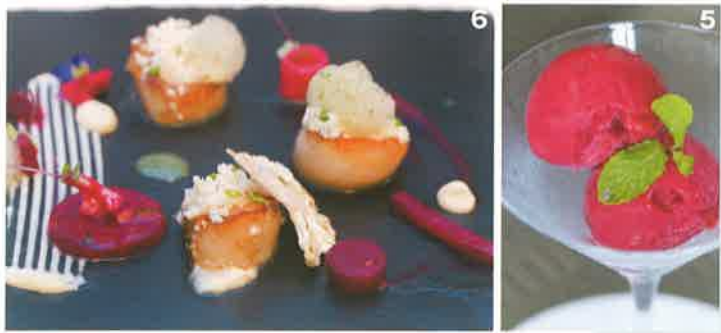


朝はヨガから深い呼吸をしながら身体に負担がかからない程度にやるのが有効。さわやかな空気が心地よい。





面の緑、空気はおいしく涼しい風と鳥たちのさえずりが窓から入ってくるので、エアコンやBGMがなくとも快適に過ごすことができる。加えて室内には人体に有害な化学物質がほとんどない環境。リゾート内でのアクティビティも健康志向のものが多く、病院のようなストイックさが見られずただひたすら優雅に健康を追求することが可能。ストレスもなく、これだけ「きれいなもの」に囲まれていれば、なんだか滞在しているだけでもデトックスできそうではないか。実はそれほど健康志向ではない筆者もここではどっぷり健康的なアクティビティに明け暮れる。なにをやっても気持ちがいい、楽しい、おいしい！旅の楽しさをしっかりと押さえつつ、身も心もきれいにされる究極のリゾート、「ザ・シャトー」。また来たい、定期的に通いたいリゾートをまたひとつ見つけてしまった。



1 翌日はダイエットプログラムに挑戦！朝食も昨日よりずっと軽めでフルーツをたっぷり。2 午前中と午後にはフルーツスムージーのおやつ。けっこうお腹にたまる。3 ランチのサラダはキヌアとアボカド。これだけでもなかなか食べ出がある。4 メインコースは海老と野菜のグリル。けっこうたっぷり出てくるという印象。5 デザートは軽めのソルベ。甘さ控えめで、なるほどダイエットメニューかも。6 メインディッシュはホタテのグリル。スモークしたビートルートとバジル風味のエアを添えて。7 ディナーのアミューズ。なんだろう？と思ったら、グリーンソースをまとったやさしい味のニョッキ。8 食べられる花とグリーンサラダ、オリブオイルドレッシング。食べるのがもったいないくらい華やか！

◀こだわりのシェフ、ローランドさん。どんな料理も取り入れて独自のスタイルを確立。  
▼デザートはフルーツコンポートにブラックベリーのグラニタを添えて。これでダイエットメニューなのが驚きの満足感！



「シャトー」は異色の存在なのだ。まず、オーガニックリゾートであること。オーガニックをうたうリゾートは世界でも数知れないが、シャトーの室内で利用されるリネン類はすべてコットンやシルクなどの天然素材を使用している。バスアメニティのせっけんやシャンプーなどはアイルランドの自然化粧品会社「VOYA」のもの。歯ブラシは可燃のもので、プラスチックではない。じゅうたんなどどうしても化学繊維が必要なものもあるが、その使用率はわずか20%ほど、つまり建物全体の80%超が天然素材のものでできているのである。これだけ微に入り細に入りオーガニックであることを追求しているリゾートはほかに類がなく、世界初の究極のオーガニックリゾートとして数々の賞を受賞しているのだ。

また、食事にももちろん気を配っている。これだけの山の中、なかなか新鮮な材料の調達に難しいが、ここでは広大な専用の畑を擁しており、ハーブ類や野菜、果物を育てている。旬のものをとれたてのまま食卓へ。化学物質を用いた農薬を使わないといった配慮は当然のことながら、野菜などの運送のためにトラックを使えばその分カーボン・エミッション（二酸化炭素の排出量）が増えるとして、極力それを避ける目的もあるのである。

自然環境への配慮もさることながら、これらは人体の健康にも大きく関係があるのは明らか。窓外には一

窓からコルマルが見える部屋も。本当にヨーロッパな感じ！でもよく見るとマレーシアの旗が……。

